

少子化・晩婚化に関する調査

厚生労働省の人口動態統計の年間推計によると、日本に住む日本人の人口は2005年に初めて減少に転じることが報告された。そこでイー・ウーマンでは、前回2004年12月に引き続き、イー・ウーマンリーダーズへ「少子化・晩婚化」に関する調査を行い、1,269名から回答を得た。

■ 子どもは仕事にプラスの影響 …… グラフ1

「子どもをもつことが、あなたの仕事に影響を与えますか?」と聞いたところ、「プラスの影響」と答えた人は56.2% (前回比+4.6ポイント) であった。一方、今、子どもがいない女性たちが、仕事に「プラスの影響」を与えていると考えているのは38.2% (前回比+3.5ポイント)、「マイナスの影響」は54.9% (前回比-6.8ポイント) であった。

子どもがいる、いないで仕事への影響の考え方が大きく違いあるのは前回と同じ傾向である。ただ、前回の調査よりも子どもがいる、いないにかかわらず、「プラスの影響」であると回答した人の割合が増えている傾向が今回の調査ではあらわれた。

■ 家事や育児に協力的な男性を選択 …… グラフ2

前回の調査では、「年収1000万円で、家事や育児に非協力的な人」(81.0%)、「年収500万円で、家事や育児に協力的な人」(19.0%) であった。そこで、今回は年収500万円から、年収300万円に下げ、「年収300万円で、家事や育児に協力的な人」と「年収1000万円で、家事や育児に非協力的な人」どちらを選ぶか聞いてみた。

結果は、60%以上を超える女性たちが「年収300万円でいいので、家事や育児に協力的な男性が良い」を選択した。女性たちも働いているので、収入よりも家事や育児への協力を求めている傾向が強い。

■ 子どもを生みたい! …… グラフ3

子どもがいない女性へ、子どもを生みたいかを聞いてみた。「生みたい」が70.3%、「生みたくない」が19.4%、「生めない」が10.3%であった。「生めない」の10.3%を除いて換算すると、子どもを生みたいと回答した割合は78.4%の女性たちであった。

■ 国にもっとも期待する子育て支援策は、保育所の整備 …… グラフ4

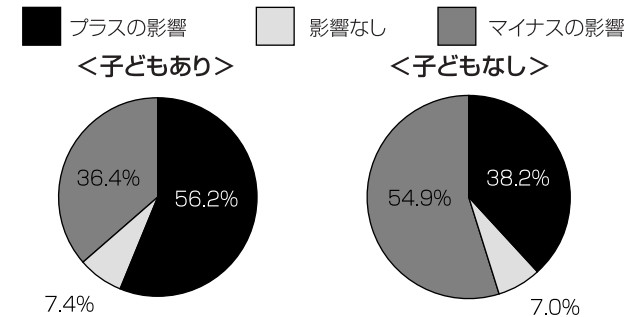
子どもがいる女性、いない女性それぞれに、国に期待する子育て支援策を聞いた。子どもがいる女性が期待する子育て支援策は「小学校の学童保育などの整備」(70.8%) であった。それに対して、子どもがいない女性の「小学校の学童保育などの整備」への要望は(54.0%)と16.8ポイントもの差があった。

■ 再就職の機会があれば、仕事をやめて育児に専念したい! …… グラフ5 グラフ6

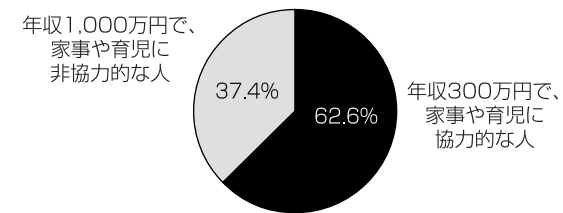
子どもがいる女性へ、出産時に仕事を続けたかを聞いた。「仕事を続けた(育児休暇などの取得を含む)」女性は56.3%、「一度退職をした」女性は43.7%だった。 **グラフ5**

次に、子育て後に再就職支援の機会が十分にある世の中だとしたら、出産時に仕事をやめて、一定期間(1年~3年)育児に専念するかどうかを聞いた。すると興味深い結果となった。「仕事をやめ育児に専念する」と答えたのは59.6%、「今の仕事を続ける」と答えたのは30.1%であった。自分が子どもを生んだ後はじっくり育児に専念したいのに、実際はまだまだ社会には再就職の機会が多いとはいえないようだ。 **グラフ6**

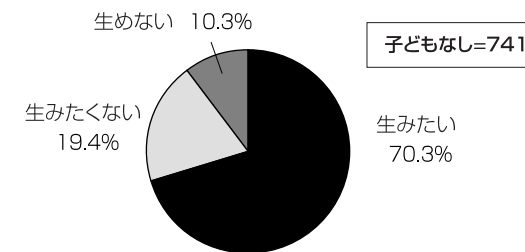
グラフ1 子どもをもつことが、あなたの仕事に影響を与えましたか? お子さんがない方は、与えると思いますか?



グラフ2 パートナーを選ばなら、どちらがいいですか?

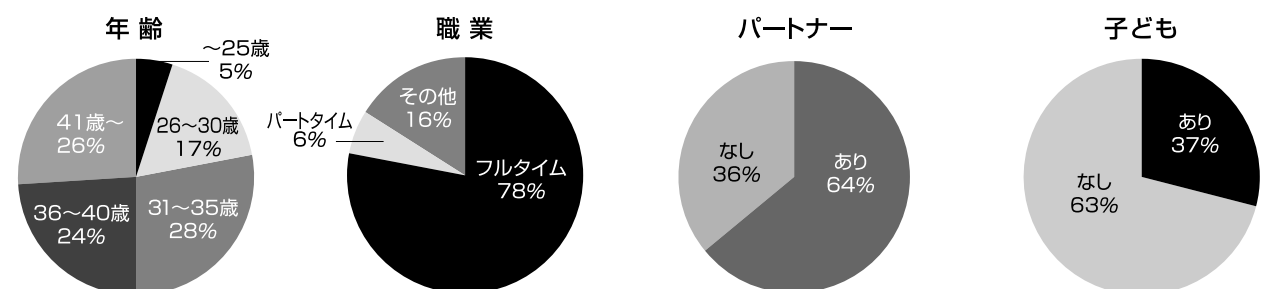


グラフ3 子どもがいない方は、子どもを生みたいですか?

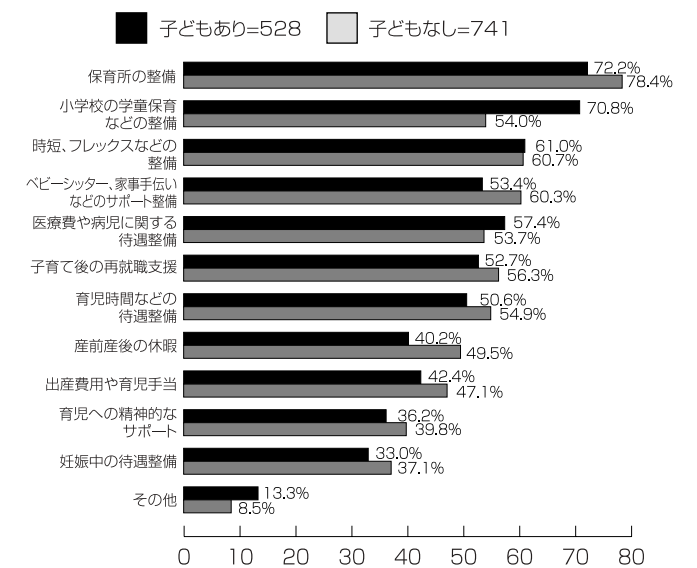


＜調査概要＞
調査実施:2005年12月8日(木)~13日(火)
調査方法:インターネットによる自記入式アンケート
対象:イー・ウーマンリーダーズ
有効回答数:1,269名

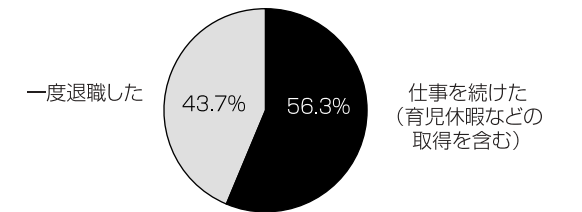
LEADERS DATA



グラフ4 子どもを育てるとしたら、国にもっとも期待する子育て支援策は何ですか? (複数回答)



グラフ5 お子さんがある方は、お子さんを生むとき、仕事を続けましたか?



グラフ6 子育て後に再就職の機会が十分にある世の中だとしたら、出産時に仕事をやめて、一定の期間(1年~3年)育児に専念しますか?

